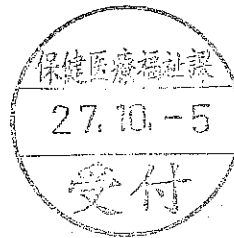


(様式例第11)



出郡医発第 782号
平成27年10月1日

都道府県知事 殿

住 所 鹿児島県出水市緑町18-18
申請者 公益社団法人出水郡医師会
氏 名 会長 古郷 米次郎

出水郡医師会広域医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成26年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒 899-0202 鹿児島県出水市昭和町18-18
氏名	公益社団法人出水郡医師会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

出水郡医師会広域医療センター

3 所在の場所

〒 899-1611 鹿児島県阿久根市赤瀬川4513	電話 (0996) 73-1331
-------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	222床	222床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 6床 ICUモニタシステム一式、心電計、個人用透析装置、オキシタット、ヘモクロン、解析付心電計
化学検査室	(主な設備) 全自動生化学分析装置、全自動血液ガス分析装置
細菌検査室	(主な設備) 安全キャビネット
病理検査室	(主な設備) 凍結切片作製装置、マイバイオ (冷凍庫)、顕微鏡
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、解剖器材1式
研究室	(主な設備) パソコン、プリンター、インターネット回線
講義室	室数 4室 収容定員 200人
図書室	室数 1室 蔵所数 3,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) ストレッチャー、酸素吸入器、吸引器、除細動器 保有台数 4台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 10.94㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	73.0%	算定期間	平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	116.3%		
算出根拠	A：紹介患者の数		3,957人
	B：初診患者の数		5,419人
	C：逆紹介患者の数		6,305人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
1	医師	立石 繁宜	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
2	医師	今村 博	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
3	医師	堀之内 信	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
4	医師	崎田 浩徳	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
5	医師	濱田 博隆	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
6	医師	上木原 貴仁	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
7	医師	原口 尚士	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
8	医師	紙屋 康之	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
9	医師	井上 和彦	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
10	医師	吉野 聡史	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
11	医師	下野 洋和	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
12	医師	福元 大地	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
13	医師	大牟禮 健太	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
14	医師	恒吉 康弘	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
15	医師	藤元 祐介	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
16	医師	内山田 桜	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
17	医師	城光寺 豪	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
18	医師	松林 理	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
19	医師	平瀬 純伸	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
20	医師	栗 隆志	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
21	医師	加々良 一朗	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
22	医師	米盛 圭一	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 翌8時30分	毎週金曜から土曜日(週1回)
23	看護師	波留 美香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
24	看護師	下田 規子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
25	看護師	高田 マキ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
26	看護師	中村 ユリ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
27	看護師	中山 直美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
28	看護師	植元 さつき	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
29	看護師	三反田 ひとみ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
30	看護師	清水 真紀	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
31	看護師	松岡 理香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
32	看護師	上村 清美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
33	看護師	高橋 泰弘	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
34	看護師	小川 まゆみ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
35	看護師	竹中 さよ子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
36	看護師	大田 理香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
37	看護師	山上 武	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
38	看護師	立石 敦子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
39	看護師	猿楽 律子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
40	看護師	今西 真一郎	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
41	看護師	関 珠美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
42	看護師	中島 幸子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
43	看護師	福留 いつよ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
44	看護師	清田 みつ子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
45	看護師	渡 知子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
46	看護師	割地 理恵子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 16時00分	週36時間
47	看護師	久松 君代	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 16時00分	週36時間
48	看護師	日笠山 順子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 16時00分	週36時間
49	看護師	入尾野 教恵	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 12時30分	週24時間
50	看護師	尻無濱 由紀子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 16時00分	
51	看護師	大下本 亜由美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 12時30分	
52	看護師	山上 千穂代	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
53	看護師	灰塚 佐登志	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
54	看護師	小田原 沙八香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
55	看護師	小田原 沙八香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
56	看護師	中村 智恵	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
57	看護師	淵上 ゆかり	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
58	看護師	浅井 美香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
59	看護師	青木 ゆかり	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
60	看護師	外 裕太郎	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
61	看護師	永岡 慎吾	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
62	看護師	上原 和佳子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
63	看護師	坂口 美香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
64	看護師	新井田 香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
65	看護師	石澤 英規	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
66	看護師	田中 真奈美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
67	看護師	小村 小百合	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
68	看護師	多賀 真弓	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
69	看護師	山平 麻美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
70	看護師	中園 美希子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
71	看護師	新坂上 さつき	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
72	看護師	秋山 真子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
73	看護師	釜 亜有美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
74	看護師	神川 桂子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
75	看護師	中村 慎一	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
76	看護師	岩永 秀憲	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
77	看護師	永井野 由紀	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
78	准看護師	黒崎 美千代	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
79	准看護師	中村 次子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
80	准看護師	小城 葉子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 13時30分	週20時間
81	准看護師	福留 ルミ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 16時00分	週32時間
82	准看護師	寛 佳奈子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	週20時間
83	准看護師	福永 孝子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 13時00分	週26時間
84	薬剤師	石田 和久	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
85	薬剤師	中尾 承司	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
86	薬剤師	岩下 佳敬	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
87	薬剤師	菌田 晃弘	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
88	薬剤師	岩崎 公美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
89	薬剤師	桑鶴 麻代	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
90	薬剤師	川畑 綾	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
91	薬剤師	永田 春香	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
92	薬剤師	高田 侑那	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
93	臨床検査技師	末田 英志郎	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
94	臨床検査技師	花田 守	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
95	臨床検査技師	橋口 吉孝	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
96	臨床検査技師	郷 真由美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
97	臨床検査技師	野添 さおり	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
98	臨床検査技師	倉崎 望	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
99	臨床検査技師	豎山 理恵子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
100	臨床検査技師	南 章子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
101	臨床検査技師	登尾 一平	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
102	臨床検査技師	相良 佑斗	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
103	臨床検査技師	江良 梓	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
104	臨床検査技師	前田 大槻	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
105	臨床検査技師	神上園 菜々	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
106	臨床検査技師	久保田 喜子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
107	臨床検査技師	吉田 剛士	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分	
108	臨床検査技師	岩下 めぐみ	常勤 非常勤	専従 非専従	9時30分から 13時00分	週20時間

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
109	放射線技師	床波 隆幸	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
110	放射線技師	吉村 伸一郎	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
111	放射線技師	塚元 己年	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
112	放射線技師	高野 亮一	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
113	放射線技師	大木 志麻	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
114	放射線技師	田上 紀恵	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
115	放射線技師	兒玉 遼	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
116	放射線技師	丸野 達也	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
117	放射線技師	入口 雅実	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
118	放射線技師	中尾 紗綾	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
119	臨床工学 技士	山口 裕和	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
120	臨床工学 技士	大漣 辰也	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
121	臨床工学 技士	上田 舞	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
122	臨床工学 技士	中里 純平	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
123	臨床工学 技士	上田 真輝	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
124	臨床工学 技士	永楽 貴也	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
125	臨床工学 技士	田北 圭	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30分から 17時00分
126					

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	HCU 6床
専用病床	10床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	109.43㎡	(主な設備) セントラルモニター一式、除細動器、人工呼吸、心電図、超音波診断装置、パルスオキシメーター、ストレッチャー、無影灯	可
HCU	107.9㎡	(主な設備) ICUベッド、ICUモニタシステム一式、心電計、個人用透析装置、オキシスタット、ヘモクロン、解析付心電計	可
手術室	1752.5㎡	(主な設備) 手術用ベッド、麻酔器、手術室モニタシステム、鏡視下システム、手術用顕微鏡、無影灯、電気メス、除細動器、ウォームタッチ、フットポンプ、タニケット	可
放射線装置施設	607.88㎡	(主な設備) MRI装置、CT装置、一般撮影装置、ポータブルX線装置、乳房撮影装置、X線透視撮影、血管造影室、IABPシステム、救急カート	可
臨床検査室	151.26㎡	(主な設備) 生化学自動分析機、生物顕微鏡、全自動電解質分析装置、クリニカル脳波計、自動血球洗浄遠心機、卓上遠心機、誘発電位筋電図検査装置、自動採血管準備装置、多用途心電図解析装置、インテリジェントスパイロ、ホルター心電図解析装置、解析付心電計、血圧脳派検査装置	可

薬剤室	191.28㎡	(主な設備) クリーンルーム、クリーンベンチ、 全自動錠剤分包機、全自動散剤分包 機	可
-----	---------	---	---

4 備考

救急病院を定める省令（昭和39年厚生省第8号）に基づき、鹿児島県知事の救急病院の認定を受けている。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,641人 (923人)
上記以外の救急患者の数	4,016人 (1,001人)
合計	5,657人 (1,924人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	4台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

- 1. 共同指導回数 269回
 - 1) 共同利用を行った医療機関の述べ数: 25軒
 - 2) 1)の医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の述べ数: 25軒
- 2. 共同手術 35回
- 3. 共同診療 269回
- 4. 病床利用率 83.1%

(注) 一般許可病床数 222床(全ての病床が共同利用に係る病床)

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

当院すべての設備、器械又は器具

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有・無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名:
職 種:

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
		別紙(1)		

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	222床
--------------	------

登録医療機関の名簿

平成26年3月31日現在

【別紙 1】

医療機関	開設者名	医療機関住所要請	標榜科目	備考
福元医院	福元 修	出水市米ノ津町3-30	内、循内	
境田医院	境田 通 泰	出水市米ノ津町35-20	内・外・産婦	
よしだ泌尿器科クリニック	吉田 二郎	出水市黄金町427-1	泌尿器・透析	
東医院	東 保 徳	出水市六月田町360	外・内・胃腸・肛門・麻・リハ	
整形外科ばばぐちクリニック	馬場口 泰 宏	出水市六月田町711	整外・リハ	
出水総合医療センター	出水 市長	出水市明神町520	全科	
林泌尿器科クリニック	林 豊 秀	出水市明神町2355	泌尿器・内・人工透析・性病	
つかさとクリニック	塚 里 孝 和	出水市下知識町1518-1	内・神内・呼吸・消化	
市川医院	市川 昭 則	出水市緑町43-41	耳鼻咽喉・気管食道	
広瀬産婦人科医院	広瀬 正 典	出水市昭和町15-20	産婦・内	
出水眼科	藤 井 智 仁	出水市昭和町26-6	眼科	
おかだクリニック	岡 田 富 志	出水市昭和町45-1	消化・内・放射線・胃腸	
三慶医院	新 富 義 侯	出水市上鱈淵1966	内・循環	
出水病院	今 村 圭 介	出水市麓町29-1	精神・心療内・内	
吉田耳鼻咽喉科医院	吉 田 重 彦	出水市本町3-5	耳鼻咽喉・気管食道	
二宮医院	二 宮 信 幸	出水市本町4-45	小児・内・アレルギー	
クリニック. なかむら	中 村 直 英	出水市向江町2-15	消化・内・呼吸・外	
福永内科循環器科	福 永 秀 哲	出水市向江町13-28	循環・内・消化	
キッズクリニック	四 位 昭 人	出水市向江町19-24	小児・内	
わかすぎ皮フ科クリニック	若 杉 正 司	出水市中央町1390	皮フ・形成外・アレルギー	
平田整形外科クリニック	平 田 健 作	出水市上知識町856	整外・リウマチ・麻・リハ	
しもぞのクリニック	下 園 勇 人	出水市五万石町802	内・胃腸・麻・糖尿	
せき耳鼻咽喉科クリニック	関 大 八 郎	出水市大野原町71	耳鼻咽喉	
こどもクリニック永松	永 松 省 三	出水市平和町25-2	小児・内	
よう皮ふ科医院	葉 著 寿	出水市平和町133-1	皮膚	
楠元内科医院	楠 元 孝 幸	出水市平和町224	内・胃腸・循環・心療内・小児	
さくら通りクリニック	山 本 正 昭	出水市平和町228	脳外・リハ・神内・放射線	
吉井中央病院	吉 井 八 郎	出水市平和町336	内・外・循環・胃腸・整外・リハ・消化	

出 水 市

登録医療機関の名簿

【別紙 1】

平成26年3月31日現在

医療機関	開設者名	医療機関住所要請	標榜科目	備考
奥田蘇明会医院	山下昇三	出水市高尾野町大久保13	皮膚・内・精神・神経	
友愛クリニック	山里将昭	出水市高尾野町大久保2012-1	内・消化	
出水総合医療センター 高尾野診療所	出水市市長	出水市高尾野町大久保3816-28	内・外	
恒吉医院	恒吉礼三	出水市高尾野町柴引1515	内・消化	
第二病院	出水郡医師会	出水市高尾野町柴引2574	内・リハ	開設者同一
高尾野クリニック	田平英伸	出水市高尾野町下水流761	精神・内	
荘記念病院	若林友	出水市高尾野町下水流862-1	精神・内	
出水総合医療センター 野田診療所	出水市長	出水市野田町上名6103	内・循環	
来仙医院	来仙隆洋	出水市野田町下名6909	内・外・小児	
黒木胃腸科外科医院	黒木康文	阿久根市脇本7390-1	内・胃腸・外	
脇本病院	松元寛仁	阿久根市脇本9093-2	精神・神経・内	
しみず子ども医院	清水貴士	阿久根市赤瀬川3880-3	小児	
植村整形外科	植村忠一	阿久根市赤瀬川4303-1	整外・リハ	
有村産婦人科・内科	有村徹	阿久根市栄町127-3	産婦・内・小児	
山田クリニック	山田和彦	阿久根市本町63	内・外・消化・肛門・理学診療・小児・胃腸	
阿久根眼科	伊比健児	阿久根市本町127	眼科	
上園医院	上園孝	阿久根市本町152	内・消化・小児	
北国医院	北国敏	阿久根市本町184	外・胃腸・整外・リハ・小児	
内山病院	古郷米次郎	阿久根市高松町22	内・外・胃腸・泌尿器・神内・放射線	
林胃腸科・外科	林干城	阿久根市大丸町86	内・消化・外・肛門・胃腸・リハ	
鶴見医院	高野卓二	阿久根市鶴見町119	内・呼吸・循環・消化・リハ	
門松医院	門松民夫	阿久根市鶴見町203	外・内・消化・呼吸・肛門	
いまむらクリニック	今村章	阿久根市塩鶴町2丁目123	泌尿器・内・人工透析	
長島町国民健康保険 平尾診療所	長島町長	長島町平尾134	内・外	
長島クリニック	田畑富士男	長島町指江82-13	外・内・胃腸	
飯尾医院	飯尾一成	長島町城川内88	外・内・婦	
長島町国民健康保険 鷹巣診療所	長島町長	長島町鷹巣1814	外・内	

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

- | | |
|---|---------------|
| ◎出水郡医師会広域医療センター学術講演会（前期） | |
| ・ M o h s ペーストによる緩和療法の実施 | (薬剤師) |
| ・ 消化器エコーの現状と症例 | (診療放射線技師) |
| ・ 排泄ケアの質向上と、看護業務改善 | (看護師) |
| ・ 看護業務効率化の取り組み「入院サポート係設置」 | (看護師) |
| ・ 大腿ヘルニア嵌頓症例に対して待機的腹腔鏡下ヘルニア修復術を施行した2例 | (医師) |
| ・ 当院におけるA I | (医師) |
| ◎出水郡医師会広域医療センター学術講演会（後期） | |
| ・ イリノテカン投与により、腹痛と発汗が強く出現した患者への
ブチルスコポラミン投与法の検討 | (看護師) |
| ・ 身体機能向上が見られた事例の、回復期リハビリ病棟としての関わり | (看護師) |
| ・ 当院における術中脊髄誘発電位測定の現状 | (臨床検査技師) |
| ・ 当院での心臓リハビリテーションについて | (理学療法士) |
| ・ 心不全に対してトルバプタンが有用であった2症例 | (医師) |
| ・ 手根管症候群について | (医師) |
| ◎診療連携勉強会 | |
| ・ 当院における眼科時間外外来の状況 | (医師) |
| ・ 当院における院内脳卒中電子パスのシステム構築整備状況について | (") |
| ・ 重症熱性血小板減少症候群の2症例 | (") |
| ・ 変形性膝関節症の治療 | (") |
| ・ 脳梗塞について | (") |
| ・ デルフルランの麻酔 | (") |
| ・ 胃切および大腸切除患者に対してE S ポリタミンの投与が血清アルブミン値に与
える影響の検討 | (薬剤師) |
| ・ 外傷性胆嚢出血に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った1例 | (医師) |
| ・ 膀胱癌について | (") |
| ・ 橋本病に無痛性甲状腺炎を合併し、急性心不全を発症した超高齢女性の一例 | (") |
| ・ 骨欠損に対するマスキレー法の治療経験 | (") |
| ◎地域医療従事者研修 | |
| ・ 口腔ケア講習会 | (派遣講師) |
| ・ 褥瘡対応方法と診療報酬改定箇所を知る | (皮膚排泄ケア認定看護師) |
| ・ 継続看護ができるサマリーについて意見交換会 | (看護師長、社会福祉士) |
| ◎第2回川北薩地区研修会 | |
| 「誘発筋電図技術講習」 | (派遣講師) |
| ◎第80回出水地域病院薬剤師研修会 | |
| 「当院における骨粗鬆症治療について」 | (派遣講師) |

◎第81回出水地域病院薬剤師研修会 「薬剤師に役立つ画像診断」	(派遣講師)
◎第82回出水地域病薬剤師会研修会 「薬の情報の捉え方と業務への展開」	(派遣講師)
◎第83回出水地域病薬剤師会研修会 「とことん症例から学ぶ呼吸器患者」	(派遣講師)
◎第84回出水地域病薬剤師会研修会 「現場ですぐに役に立つ添付文書の薬物動態の読み方 ～動脈硬化治療剤を中心に～」	(派遣講師)
◎第85回出水地域病薬剤師会研修会 「Question the status quo 循環器でどうしても外せない七つのクスリ」	(派遣講師)
◎第86回出水地域病薬剤師会研修会 「糖尿病治療薬について」	(派遣講師)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	34回
(2) (1) の合計研修者数	803人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無
 イ 研修委員会設置の有無 有 無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
保 清 和	医 師	外 科	科 長	15年	
堀 之 内 信	医 師	放 射 線 科	診 療 部 長	19年	
下 野 洋 和	医 師	循 環 器 科	医 長	6年	
内山田 桜	医 師	整 形 外 科	医 長	8年	
平 瀬 純 伸	医 師	眼 科	科 長	19年	
恒 吉 康 弘	医 師	整 形 外 科	科 長	22年	
粟 隆 志	医 師	脳 神 経 科	科 長	12年	
加 々 良 一 朗	医 師	泌 尿 器 科	科 長	17年	

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
原 口 尚 士	医 師	外 科	科 長	10年	
大 牟 禮 健 太	医 師	循 環 器 科	医 長	8年	
福 元 大 地	医 師	循 環 器 科	医 長	7年	
藤 元 祐 介	医 師	整 形 外 科	科 長	11年	
松 林 理	医 師	麻 醉 科	科 長	13年	
桑 鶴 麻 代	薬 剤 科			2年	
藪 田 晃 弘	薬 剤 科		主 任	6年	
高 野 亮 一	診療放射線 技師			12年	
花 田 守	臨床検査 技師		主 任	31年	
岡 山 希 未 翔	理学療法士			3年	
久 保 義 満	看 護 師		師 長	19年	
新 井 田 香	看 護 師		師 長	24年	
外 戸 口 君 代	看 護 師		主 任	19年	
寺 地 福 代	看 護 師			38年	
山 口 明 美	社会福祉士			4年	
加 治 正 知	派 遣 講 師	出水総合医療センター 脳神経外科			
長 谷 川 修	派 遣 講 師	横浜市立大学附属市民総合医療センター総合診療科教授			
皿 谷 健	派 遣 講 師	杏林大学医学部附属病院呼吸器科内科			
下 堂 藪 権 洋	派 遣 講 師	鹿児島大学医学部歯学部附属病院薬剤部副薬剤部長			
八 重 樫 牧 人	派 遣 講 師	亀田総合病院総合内科部長			
香 坂 俊	派 遣 講 師	慶應義塾大学病院循環器内科 第一三共心血管炎症学講座特任講師			
吉 田 茂	派 遣 講 師	日本イーライリリー株式会社メディカル担当			
上 川 善 昭	派 遣 講 師	鹿児島大学病院口腔外科			

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
	m ²	(主な設備)
別紙【4-1、4-2】	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

施設の概要

(平成27年3月31日現在)

名称	公益社団法人 出水郡医師会広域医療センター
開設者	公益社団法人 出水郡医師会 (会長 古郷 米次郎)
管理者	立石 繁宜
所在地	阿久根市赤瀬川4513番地
電話番号	0996-73-1331
許可病床数	222床 (うち一般166床・ハイケアユニット6床・緩和ケア10床・回復期リハビリテーション40床)
診療科目	内科・循環器内科・神経内科・消化器内科・消化器外科・外科・小児外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・麻酔科・放射線科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・眼科
職員状況	460名 (医師21名、非常勤医師23名、薬剤師9名、非常勤薬剤師4名、薬剤助手3名、臨床心理士1名、診療放射線技師11名、放射線助手3名、臨床検査技師16名、検査助手3名、理学療法士15名、作業療法士11名、言語聴覚療法士7名、リハビリ助手1名、臨床工学技士7名、管理栄養士3名、看護師178名、准看護師35名、看護助手26名、クレーン15名、事務職29名、労務職4名、保育士8名、医療安全管理室3名、地域医療連携室7名、診療情報管理士9名、看護学校9名)
関連施設	附属看護学校、院内託児所、出水郡医師会立第二病院
開設日	平成元年10月1日
建物構成	7病棟・診療科外来・管理棟等
敷地面積	20,608.34㎡
建物延面積	21,085.0㎡

各 階 の 機 能

外 来 ・ 管 理 棟 等	
4 階	会長室・役員室・会議室・大ホール・図書室
3 階	院長室・副院長室・診療部長室・診療部科長室(4室)・診療技術部長室 看護部長室・事務部長室(人事・企画管理室)・医療安全管理室・法人会計部
2 階	リハビリテーション室・カンファレンス室(2室)・医療情報・診療情報係(電子カルテサーバー室) 厨房・栄養給食室・医療機器管理科・結石破碎装置室・高気圧酸素治療室 売店・食堂・医局・医局談話室・診療部科長室(6室)・診療放射線科技師室 臨床検査科・看護師(長)当直室・医師当直室・看護部更衣室
1 階	総合受付及び会計・医事課(カルテ庫)・地域医療連携室・医療情報センター 救急外来・事務当直室・/神経内科/麻酔科/放射線科(外来) 泌尿器科/脳神経外科/耳鼻咽喉科/整形外科/眼科/耳鼻咽喉科/隔離診察室(外来) 消化器病センター(外来化学療法室・内視鏡検査室) 放射線検査室(CT室・一般・透視・透視室・マンモグラフィ係・MRI・フィルム庫) 循環器病センター(診察室・処置室・心エコー・心電図・呼吸機能・脳波・筋電図) 薬剤科・業務課(経理係・用度係)・総務課総務係・リネン室・霊安室・解剖室 手術室・中央材料室・手術家族控室・血管造影室

病 棟	
9 階	業務課施設係事務室(電気室・機械室)
8 階	循環器内科病棟(40床)
7 階	整形外科病棟(40床)
6 階	外科病棟(40床)
5 階	混合病棟(40床)
4 階	回復期リハビリテーション病棟(40床)
3 階	緩和ケア病棟(10床)・ICU(6床)・一般病棟(6床休床)・心理サポート室

病棟種別 ・ 全て一般病床

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	立石 繁宜
管理担当者氏名	尾上 博美

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約			入院・外来----- I D順 診療録については電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	医事係・カルテ庫 医療情報管理係 サーバー室 手術室・事務室 フィルム庫 各病棟・外来 各診療技術科 地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績		
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績		
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	立石 繁宜
閲覧担当者氏名	尾上 博美
閲覧の求めに応じる場所	医事課事務室
閲覧の手続の概要	
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧を希望する方は、所定の用紙に必要事項を記入してもらおう。閲覧担当者は閲覧責任者の承認を得た上で閲覧を行う。	

前年度の総閲覧件数		103件
閲覧者別	医師	34件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	69件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	12回	
委員会における議論の概要		
【 運営委員会 】		
〈実施年月日〉	・平成26年 4月28日	・平成26年 5月26日
	・平成26年 6月30日	・平成26年 7月28日
	・平成26年 8月25日	・平成26年 9月29日
	・平成26年10月27日	・平成26年11月25日
	・平成26年12月26日	・平成27年 1月28日
	・平成27年 2月27日	・平成27年 3月30日
〈議 題〉	・病院運営状況について ・患者受入れ状況について ・病院収支状況について	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・ その他（各病棟のカンファレンスルーム）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	本田 葉子（社会福祉士・精神保健福祉士） 森重 勝美（社会福祉士） 山口 明美（社会福祉士） 二見 涼（社会福祉士） 宮内 友子（看護師）
患者相談件数	9, 343件
患者相談の概要	
<p>* 診療科毎にソーシャルワーカー4名と看護師の1名の計5名で分担。毎週、回診に同行し患者情報把握に努めている。相談ルートは、医師、病棟スタッフ、家族、本人・ケアマネージャーなどからで、医療機関・行政・居宅介護支援事業所などの院外からの問合せも多く、その件数も含まれている。また、ケアマネージャーからの入院時情報提供書により早期介入に努めている。ケースによってはケアマネを含め関係者で退院調整カンファレンスを行っている。</p> <p>後方支援体制把握のために、2週間毎に地域の医療機関や施設の空床情報を集約し配信している。地域の医師会の先生方を対象に毎月行われている診療連携勉強会・診療連携協議会に参加させてもらい連携が図れるよう努めている。</p> <p>毎週金曜日に患者サポート会議を開催し、対応の振り返りや問題点の検討を行っている。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 1. 評価機関：日本医療機能評価機構 審査体制区分3 Ver6.0 審査日 平成24年11月 5日～ 11月 7日 2. 一般財団法人日本科学技術連盟 適用規格 JISQ9001:2008 (ISO9001:2008) 審査日 平成27年 2月19日～ 2月20日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 1. 病院広報誌かけはしの発行 (年4回) 2. 病院ホームページ 3. 文化講演会の開催 (年1回) 4. 地域医療従事者研修会 (年4回) 5. 健康教室 (年4回) で情報発信している。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 地域医療連携室に社会福祉士4名、看護師1名を配置し、他部門と協力しながら、地域の医療機関や介護施設等と連携を図り退院支援を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み<ol style="list-style-type: none">1. 出水地区脳卒中連携ネットワーク研究会 出水地区（出水・阿久根・長島）の医療機関の情報共有を目的とし、年3回の研究会を開催。2. 鹿児島県がん医療地域推進事業「私の手帳」センター策定のがん診療連携クリティカルパスを活用。 出水地区医科歯科連携協議会を年2回開催。 地域がんネットワーク研修会を年3回開催 緩和ケア研究会の講演会と事例発表を各1回開催。 緩和ケア学習会を年8回開催 出水・阿久根・長島地区緩和ケア研究会を年2回開催	